

第30回鈴鹿市文芸賞の受賞作品が決まりました

◆一般の部

(敬称略、同賞内順不同)

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
最優秀賞	小説・評論等	澤田 悟	諫早の人
	エッセイ	奥田 かなえ	双子
	アフォリズム	村井 一朗	喜怒哀楽を発信し自らを磨く人間は一本の鉛筆なり
	詩	くさもと なぎ	ホコリ
	短歌	安富 節子	水のテーブル
	俳句	北岡 礼子	秋
	川柳	西山 竹里	スローダウン
優秀賞	小説・評論等	伊藤 久昭	夕日の島
	エッセイ	渡邊 逸郎	龍太郎が暮した海辺の街
	アフォリズム	杉本 由美子	男女平等と言うけれどかつらをつけると女性は称賛され男性は嘲笑される
	詩	小幡 永	訪方丈談空
	短歌	城 本山	時を待つ
	俳句	坂本 剛子	秋のいとまに
	川柳	小川 はつこ	ばあちゃん未満

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
奨励賞	小説・評論等	おかだ よしこ	影を無くした男
	小説・評論等	桑山 真理子	亡者Aと鬱病天使
	エッセイ	田中 道雄	姫越山と芦浜
	アフォリズム	館 佐智子	子供は愛に左右される大人はお金に左右される
	詩	矢野 陽子	「信仰の体験談集を作る」に渋る者へ
	短歌	樋口 哲司	催涙雨
	短歌	片岡 和夫	団欒
	俳句	東谷 きみ子	庭キャンプ
	俳句	倉田 勝敏	風光る
	川柳	小出 順子	仕事
	川柳	河内 秀斗	生活日和
	川柳	水野 リン子	アッシーくん

◆ジュニアの部

(敬称略、同賞内順不同)

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
最優秀賞	作文・童話等	上田 紗由美	香り屋
	詩	高瀬 リリ子	しゃぼん玉
	短歌	植村 悠真	家の中マスクはずして話せるねお顔が見えてにっこりえがお
	俳句・川柳	飯田 凜太郎	落ちるなよ線香花火反抗期
優秀賞	作文・童話等	浅田 紗穂	咲の絵と凜の思い
	詩	小川 愛奏	なかよし オッスン、メッスン
	短歌	中村 亮介	落ちるかな落ちてもいいな川の中にんじゃしゅぎょうのみずくものじゅつ
	俳句・川柳	宮本 修花	だいすきなオクラきったらおほしさま
奨励賞	作文・童話等	新田 晃佑	動物の幸せ
	作文・童話等	河内 理桜	一緒に帰ろ
	詩	該当者なし	
	短歌	五十嵐 ほのか	あつかったでもいいてんきあわつけてブラシでこする上ぐつあらい
	短歌	山田 兼久	なつ休みねん土をつかうしゅくだいのびたのいえがじょうずにできた
	短歌	岸本 和佳奈	そうじだよ水とふきんでよくこするあせがでるほどいっぱいこする
	短歌	後藤 凜人	うちのねこなみえはいつもいえるかえってくるけどいつもしんぱい
	短歌	岸江 大雅	しゅく題がなぼっているのにミンミンとせみがないてるぼくをよんでいる
	短歌	谷口 翼	しん室にムカデが出たぞさつ虫ざいママにたよられぼくがたおした
	短歌	辻 山 四季	ハロウィンだお化けたくさんこわいよなでもまじよは好き空飛べるもん
	短歌	山田 智彩	ひまわりが大きくなった花がさくやっぱり大きな花がさくんだ
	短歌	佐々木 煌真	雨ばかりぼくの畑は草の勝ち野菜はどこか負けてしまった
	短歌	安本 愛	早起きしねむたいけれどはりきってラジオ体操目がさめてきた

賞	ジャンル	氏名	作品名/作品
奨励賞	短歌	大嶋 陽斗	車から外をのぞけばひがん花あちらこちらにかたまてさく
	短歌	小柴 唯愛	秋になり修学旅行ちかづいてあたまの中がお花ばたけだ
	短歌	小川 愛奏	もう今日はべんきょうやめるつかれたよだって頭がてんやわんやや
	短歌	須藤 環	自転車のペダル漕ぐ足軽やかにソーダアイスが家で待ってる
	俳句・川柳	堀内 妙恵	はやおきてあさやけみたよきれいだな五じにひとりですずかなじかん
	俳句・川柳	小川 愛奏	しんちやのみおいしいねって言うおとな
	俳句・川柳	堀内 勇志	ギューギューとおしくらまんじゅうマスカット
	俳句・川柳	荒木 虹美	サングラスモデルのまねっこ決めポーズ
	俳句・川柳	伊藤 あかり	鳴くセミや俺だ俺だと自己主張
	俳句・川柳	大橋 楓彩	クルクルと幸せおどる万華鏡
	俳句・川柳	栗田 陵牙	光浴びゆっくり寝せゆく雪だるま
	俳句・川柳	塚本 百花	体育祭早まる鼓動待つパトン
	俳句・川柳	服部 惟斗	やる気出る雲一つない夏の空
	俳句・川柳	松尾 莉棲	グローブの隙間をのぞくと夏の空
	俳句・川柳	山川 幹太	炎天下油断していたマスク跡
	俳句・川柳	山際 千暁	ラムネ瓶透かして見えるは星空か
俳句・川柳	伊東 純之介	ひやけあと服をぬいでもはんそでだ	